

高金利通貨コレクション

追加型投信／海外／債券

ファンドの概要

設定日 2008年3月31日
 償還日 2018年12月12日
 決算日 原則毎月12日
 収益分配 決算日毎

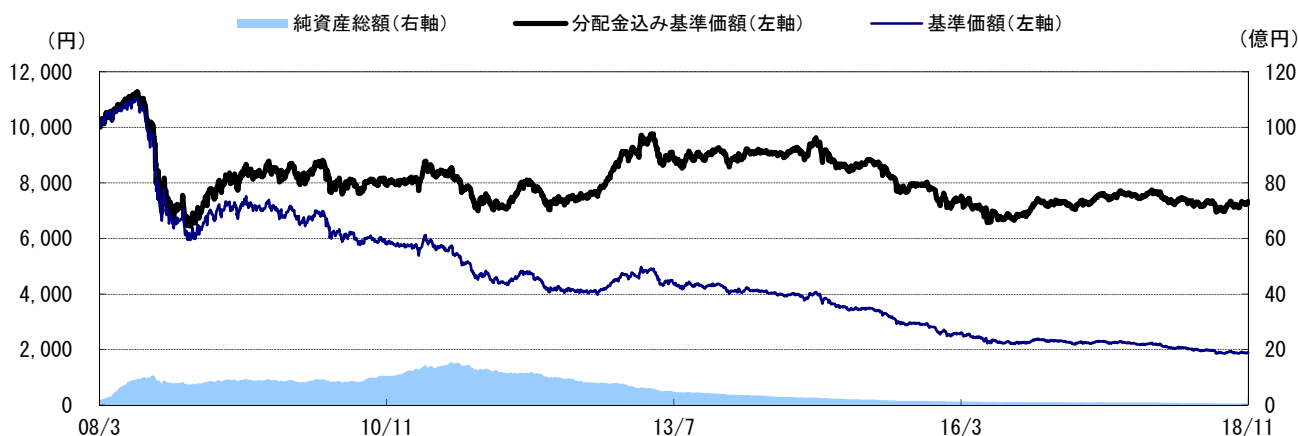
ファンドの特色

1. 原則として、高金利の10通貨を選定し、当該通貨建ての短期債券などに投資します。
2. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 1,898円

純資産総額 : 0.58億円

＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
2.47%	4.24%	1.40%	-1.75%	-7.30%	-26.67%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

＜資産構成比率＞

マルチカレンシーファンド クラスB	96.8%
マネー・オープン・マザーファンド	0.1%
その他	3.1%

＜分配金実績（税引前）＞

設定来合計	直近12期計	17・12・12	18・1・12	18・2・13	18・3・12	18・4・12
6,000円	240円	20円	20円	20円	20円	20円
18・5・14	18・6・12	18・7・12	18・8・13	18・9・12	18・10・12	18・11・12
20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円

＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額	1,872円
当月お支払いした分配金	-20円
要因	
ポーランドズロチ	3円
オーストラリアドル	6円
ニュージーランドドル	9円
カナダドル	-1円
メキシコペソ	-1円
ノルウェークローネ	-2円
アメリカドル	1円
韓国ウォン	4円
トルコリラ	13円
チリペソ	8円
債券・その他	6円
当月末基準価額	1,898円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

マルチカレンシーファンド クラスBのポートフォリオの内容

※日興アセットマネジメント ヨーロッパ
リミテッドより提供された情報です。

<通貨別構成比>

韓国ウォン	10.3%
チリペソ	10.2%
トルコリラ	10.2%
アメリカドル	10.2%
ニュージーランドドル	10.1%
ノルウェークローネ	10.0%
ポーランドズロチ	10.0%
オーストラリアドル	9.7%
メキシコペソ	9.6%
カナダドル	9.6%

※比率は当外国投資信託の純資産
総額比です。

<公社債種別構成比>

ソブリン債	47.9%
社債等	57.6%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証
債、国際機関債などです。

<格付別構成比>

短期金融 商品	P-1	28.0%
	P-2	0.0%
	P-3以下	0.0%
	平均格付	P-1
債券	Aaa	14.3%
	Aa	54.4%
	A	8.8%
	Baa以下	0.0%
	平均格付	Aa3

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用
しています。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投
資信託が保有している有価証券などに係る信
用格付を加重平均したものであり、当外国投
資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	43.8%
90日以内	10.2%
180日以内	23.7%
180日超	27.9%
平均残存日数	122日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※変動利付債は次回利払い日までの日数で
計算しています。

<ポートフォリオの最終利回り>

最終利回り	5.34%
-------	-------

※上記は、個別債券および短期金融資産につ
いて加重平均したものです。
※最終利回りは、債券および短期金融資産を
満期まで保有した場合の利回りです。
※将来得られる期待利回りを示すものではあ
りません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

【カナダ】

カナダドルは、カナダの主要な輸出品目である原油価格が供給超過や需要見通しへの警戒感などから下落したことや、カナダの中央銀行当局者がインフレ目標の枠組みなどを見直す可能性について言及したことなどを背景に、円に対して下落しました。

【ノルウェー】

ノルウェークローネは、ノルウェーの主要な輸出品目である原油価格が供給超過や需要見通しへの警戒感などから下落したことや、ユーロ圏の総合購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を下回ったことなどを背景に、円に対して下落しました。

【アメリカ】

アメリカドルは、米国連邦準備制度理事会（FRB）当局者が国内外の経済の先行きについて慎重な発言を行ったことなどから、アメリカドルが売られる局面があったものの、米中首脳会談の開催が決まり、両国の貿易摩擦緩和期待が高まったことや、米国雇用統計が堅調な内容であったこと、米国連邦公開市場委員会（FOMC）が声明で緩やかな利上げを維持する姿勢を示したことなどを背景に、円に対して上昇しました。

【メキシコ】

メキシコペソは対円で下落しました。10月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は例外で市場予想を下回りました。メキシコの中央銀行が市場予想通り政策金利を引き上げたことなどは、メキシコペソ買いの要因となったものの、新政権の政策に対する不透明感が高まったことなどがマイナスの要因となりました。

【チリ】

チリペソは対円で上昇しました。チリペソの上昇は、11月に反発した銅価格と概ね整合的な動きでした。鉱工業生産指数など発表された経済指標は市場予想を下回るものがありましたが、市場は景気サイクルの先を見越すかたちで、チリペソへの影響は限定的でした。

【ポーランド】

ポーランドズロチは対円で上昇しました。ユーロ高が進んだことや、ポーランド国内のマクロ経済指標が市場予想を上回ったことなどが、追い風となりました。欧州主要国で経済成長の鈍化傾向がみられるなか、ポーランドの第3四半期GDPは市場予想を上回りました。また、小売売上高なども堅調となっています。

【オーストラリア】

オーストラリアドルは、米中間の貿易摩擦緩和への期待感が高まったことや、オーストラリアの貿易収支が市場予想を上回ったこと、オーストラリア雇用統計の内容が良好であったことなどから、円に対して上昇しました。

【ニュージーランド】

ニュージーランドドルは、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）の声明を受けて、金利引き下げの可能性が低下したとの見方が広がったことや、ニュージーランドの失業率が前月を下回り改善したことなどを背景に、円に対して上昇しました。

【韓国】

韓国ウォンは対円で上昇しました。米国と中国の間の貿易摩擦緩和期待の高まり等からリスク回避の円買い需要が後退したことなどが韓国ウォン高の要因となりました。韓国の中央銀行は、市場予想通り主要政策金利を引き上げました。利上げ決定の背景は、金融不均衡をめぐり懸念、特に低金利環境を受けた家計債務の増加継続にあるとみられています。

【トルコ】

トルコリラは対円で上昇しました。市場のリスク回避姿勢の後退等を背景に、高い利回りを求める投資資金が流入したことが、トルコリラ高の要因となりました。消費財輸入の減少に加えて原油価格の下落等から、経常収支が改善傾向にあることもトルコリラにとっての追い風となりました。大幅な原油安を受けて、今後数四半期にわたってトルコの原油輸入額は急減すると予想されています。

◎運用概況

当ファンドでは、高い収益を得ることを目的としながら、格付の高い金融商品に幅広く投資しています。当月は、新興国における金融不安と世界的な貿易戦争のリスクが幾分弱まったことを受けて、世界的にリスク志向が改善したことから、ファンドを構成する多くの通貨が日本円に対して大幅に上昇し、当ファンドの基準価額も前月末比で上昇しました。

当月、最も堅調に推移した通貨はトルコリラとニュージーランドドルでした。世界的にリスクに対する市場心理が改善する中、高利回り資産へ資金が流入したことから、トルコリラは力強く推移しました。消費財輸入の大幅な圧縮や原油価格の大幅な下落を背景に経常収支が急速に改善していることがトルコリラの上昇を後押ししました。ニュージーランドドルは、低水準の失業率や労働参加率の上昇など、市場予想を上回るマクロ経済データが支援材料となりました。一方で、原油輸出国であるノルウェークローネとカナダドルは、原油価格の大幅な調整を背景に軟調に推移しました。

◎今後の見通し

中国、ユーロ圏、日本の景気は引き続き一段と鈍化の兆しが示唆されている一方で米国は依然として比較的堅調なことから、世界経済は依然としてまだ模様となっています。株式市場は乱高下となっているものの、ユーロ圏と日本の非常に緩和的な金融政策など、全般的になお穏やかな世界金融環境や中国のさらなる景気刺激策によって、世界景気の減速は限定的なものとなるでしょう。

米国の力強い経済活動により、米連邦準備制度理事会（FRB）はなお2018年における合計4回の利上げに向かっていくと思われ、FRBのパウエル議長は米国の金利は中立な水準に近づいていると示唆しており、2019年の見通しは不明確になりました。金融政策引き締めペースは緩やかになると思われ、市場では2019年の利上げが1回に止まることが予想されています。軟調な製造業セクターが要因となり、ユーロ圏の成長の勢いは鈍化が続いています。需給が逼迫している労働市場環境により、欧州中央銀行（ECB）は量的緩和（QE）プログラムでの債券買い入れの規模を減らし、2018年末までに新たな資産購入を停止すると思われ、しかし、ユーロ圏の多くの国においてインフレ率が鈍化し始めていることから利上げ観測は後退しており、利上げは2019年後半以降となるでしょう。その一方、イタリアの新政権が緊縮財政に反対しており、欧州委員会が同国に対して過剰財政赤字手続を開始したことから、政治リスクが高まっています。

新興国市場では、2018年の成長率見通しが今のところ2017年の水準をやや下回っており、景気減速のリスクは依然として継続しています。中国当局は量より質を伴う成長に焦点をあてており、特に金融の不安定さや環境汚染を改善することに取り組んでいるため、中国の経済成長の鈍化が主な重荷となっています。しかし、中国の経済成長は第3四半期に予想以上に減速しており、貿易をめぐる対立により、今後さらに大幅に減速する恐れがあることから、中国当局は前倒しの財政政策と目標を絞った金融刺激策の組み合わせによって対処しています。中国を除いた新興国市場は、改善している内需に主に牽引されて、全般的に回復が続くと見えています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2018年12月12日まで(2008年3月31日設定)
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し 3.24%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 (金額指定で購入する場合) 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円金額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 (口数指定で購入する場合) 例えば、基準価額10,000円のとときに、購入時手数料率3.24%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.24%(税込)=32,400円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。 ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>	
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し 年率1.08%(税抜1.02%)程度 が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.81%(税抜0.75%)、投資対象とする外国投資信託の組入れに係る信託報酬率が年率0.27%程度となります。 この他に投資対象とする「マルチカレンシーファンド クラスB」においては、固定報酬がかかります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様は帰属します。なお、当ファンドは、預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・ 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・ 新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「高金利通貨コレクション」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

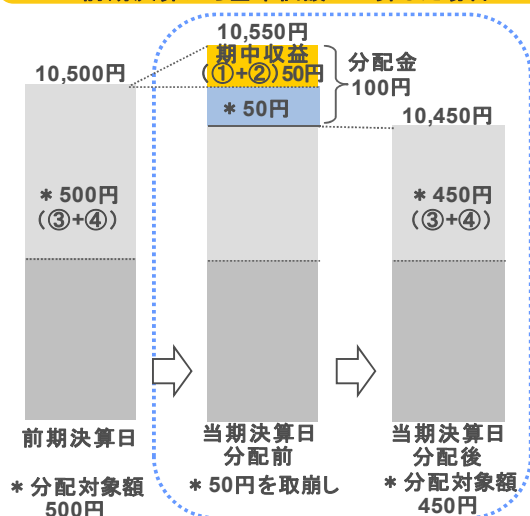
投資信託で分配金が支払われるイメージ



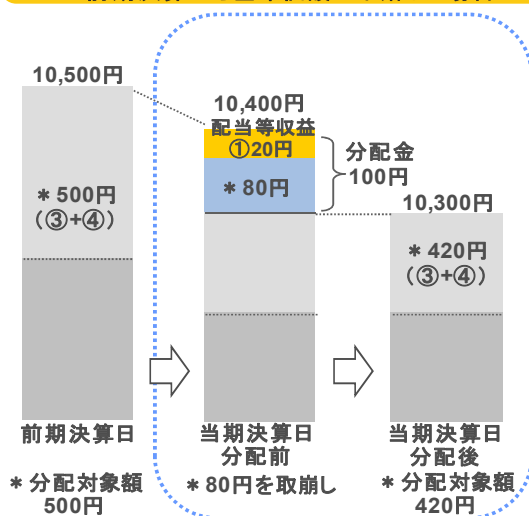
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



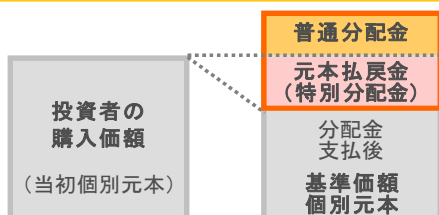
前期決算から基準価額が下落した場合



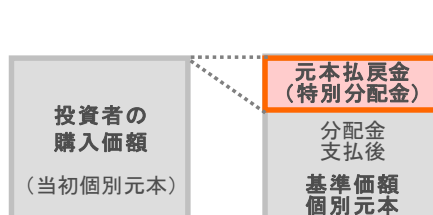
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。